

【10】 修得すべき知識能力

(2) 大学院

社会文化総合研究科

現代経済・ビジネスコース

「履修モデルA」現代経済研究分野

21世紀のいま、世界経済・日本経済はすさまじく変容しています。既存の科学や学問を超越した思考が必要とされる時代になってきたといえます。そこで、本コースでは一人一人の受講者に以下のような力を身に付けてほしいと考えます。まず、現代社会に即した経済理論を構築する力、経済の歴史を新たな視点で切り取る力、新しい時代にあった各種政策の創出を行う力の三点です。なかでも社会保障や財政、環境問題などの課題解決に向けて、より専門的にアプローチして提言できる力を育てます。

主要科目：国際経済特論

特長：現代のグローバル社会では様々な課題が指摘されます。先進国では急速に進む少子高齢化により、将来世代の負担の増大が懸念されます。一方、発展途上国では成長に伴う格差や自然破壊が問題視されています。一つ一つの課題は独自の特徴を示しながらも、互いに相関関係を持っています。それぞれに絡み合った問題を解説しながら、受講者との議論を行います。

科目の目標：講義では、上記のような現代のグローバル社会が抱える課題をできるだけ新しいデータや情報を利用して解説します。同時に、受講者と共に解決策を議論していきます。こうした議論を通して、受講者各自の研究テーマに関する課題や分析を掘り下げてもらいます。

主要科目：財政学特論

特長：日本の財政政策には、将来世代に現在の負担を負わせないため増税によって均衡財政を目指すべきであるという考え方と、経済成長を促し国民生活の向上を図るため公債発行に依る積極財政を維持すべきであるという考え方があります。社会情勢が刻々と変わっていく中、私達はどのような決断をすべきででしょうか。人口減少や国際化の進展など、現代社会に特有の要素を取り入れた経済理論を用いて考えます。

科目の目標：財政政策の伝統的な理論を踏まえた上で、最新の経済理論による分析方法を学びます。問題を多面的に捉えた上で、目標のプライオリティーに合わせて解決策を導き出す手法を身に着けます。

「履修モデルB」ビジネス研究分野

近年、経済経営の分野における変化は激しいものがあり、ビジネス環境もビジネスモデルも刻々と進歩せざるを得ない状況にあります。このようなビジネスにかかわるメカニズムの解明と問題解決のための学際的接近方法の確立をめざし、グローバル化した金融、経営ビジネス、マネジメント、経営情報などの課題への対応を研究します。

主要科目：経営管理特論

特長：経営学の体系に対応した基盤となる経営基本の原理、経営ビジネス応用、経営の実際、ビジネス環境研究および経営にかかわる隣接科学の探求などを計画的に立案した下で、学問的レベルの向上と実際の経営動向の観測と知識を育てます。

科目の目標：経営学分野において必ず修めなければならない「経営管理」の原理原則、管理の原理とマネジメント、実務的な応用など、初歩程度から高級な応用レベルまでの能力を育てます。

主要科目：経営学特論

特長：経営学という学問的体系の基礎となる企業論・経営戦略論・経営管理論・経営組織論の知識を身に着けるとともに、経営学的な思考を育てます。

科目の目標：“ビジネスをデザインする”という視点から、企業や組織が直面する諸問題を明確にし、これを経営学の基礎理論との対応でどのように解き、そして説いていくかという思考能力を身に着けることを目標とします。